村・教育行政報告

第四回定例会

平成二十五年第四回議会定例会が十二月六日から十三日の日程で開催され、議会初日、村長・教育長が村・教育行政報告を行いました。

行政報告

村長　東出輝一

▽要望・要請活動

《中央要望活動》

●十一月十四日・十五日、石狩川治水促進期成会の中央要望に同会の副会長として出席。石狩川水系治水事業の促進について、流域の治水安全度の向上を図るため、平成二十六年度治水関係予算の大幅確保に向け、財務省と国土交通省に要望した後、北海道選出の国会議員に対して要請をしました。特に本村にも大きく関連する北村遊水地事業の推進と幾春別川総合開発事業の早期完成の着手について、要請を行いました。

●十一月十九日、全国四十一町村で構成する「過疎法適用外小規模町村連絡会議」の一員として、準過疎地域として国の支援を拡充するよう、全国町村会と総務省に要請活動を行いました。

●十一月二十日、全国町村長大会に出席。安倍内閣総理大臣を始め、多くの閣僚の方々が来賓として出席された中で「東日本大震災からの早期の復興を図るとともに、全国的な防災・減災対策を強力に推進すること」など七項目を大会決議を行いました。

その後、北海道市町村農業農村振興対策協議会の一員として、平成二十六年度予算並びに農業施策に関する要望について、道内十町村と共に農林水産省で要望した後、北海道選出の国会議員に対して要請を行いました。

●十一月二十一日、国保制度改善強化全国大会に出席。大会では、「医療保険制度の一本化の早期実現」など九項目を大会決議いたしました。

▽企画振興関係

●札幌市の小学生との「農業体験交流事業」は、九月二十九日、稲刈り作業を実施しました。

十一月二十五日、新小五年生全児童が新米を西岡北小学校に届けました。

●九月二十一日から五日間、札幌市で開催された「さっぽろオータムフェスト二〇一三」には、どぶろくプリンの他、新しのつ地ビールを販売しました。また、たっぷの湯レストランの協力により、から揚げや新そばの販売も行い、終日、多くの観光客らで賑わいました。

●十一月十六日、移住促進事業として東京都産業貿易センターで開催された「北海道暮らしフェア」に参加し、みのり団地の分譲PR活動を行いました。当日は、分譲チラシを都民に配布。相談には、二十人ほどが訪れ、本村への移住に大変興味を示していました。

●十月二十五日、札幌広域圏首長会議が開催され出席しました。今回は、千歳市で開催され、陸上自衛隊第七師団東千歳駐屯地や千歳市防災学習交流センター「そなえーる」を視察した他、懇談会では、「住民協働による地域防災力について」をテーマに意見交換をしました。

▽商工観光関係

●十月末をもって終了いたしましたキャンプ場の実績は、テント設置数、約三千五百七十張（前年比二十％減）、有料入場者数、九千六百九十六人（前年比十九％減）、売上収入、約四百六十三万円（前年比十二％減）となりました。

●ふれあい農園は十月末をもって終了。利用状況は百二十四区画中、全ての区画の利用をいただきました。

●ふれあい公園パークゴルフ場は、増設工事のため、九月末をもって終了。入場者数は七千六百十九人となりました。

●今年で三年目を迎えた「しんしのつ産直市場」は、十一月四日をもって今年度の営業を終了。農商工連携協議会による店舗の決算は、売上が約三千八百万円、来場者が約四万人。前年を上回る実績となりました。

また、たっぷの湯売店で運営している飲食コーナーでも約六百万円の売り上げと報告されています。

●十二月二日、産直市場の関係者が集い今年度の実績報告や来年度の計画・運営について、意見交換会が行われました。

●十一月十五日、「農商工連携セミナーｉｎ新しのつ」が自治センターで開催されました。石狩管内や地元から約百人が参加し、地場産の食材を活かした加工品の取り組みの発表や専門家を招き、試食展示会などを行いました。

▽交通安全運動

●十一月十四日から二十三日まで、冬の交通安全運動が展開され、街頭指導を行いました。

▽福祉関係

●村内循環バスは、十一月末日で運行を終了。四月からの運行回数は延べ百四十回、利用者数は三百六十四人、一回あたりの乗車数は二．六人となっています。

また、十二月二日から乗合タクシーの